

コンテナの起動

[ご購入はこちら](#)

山田 英伸

コンテナの実行環境

コンテナを動かす基盤をコンテナ・プラットフォームと呼びます。この用語は、クラウド・サービスの分野とそれ以外の分野とで若干意味が異なることがあります。本稿ではPCで動作させる際に使用する、コンテナの実行基盤を提供するソフトウェアという意味で使用します。コンテナ・プラットフォームによっては、ユーザ・インターフェースとしてGUIが提供されているものもあり、内部でDockerコマンドが呼び出されています。

Windowsでは、次のコンテナ・プラットフォームを利用できます。これらは全てDockerコンテナを実行できます。

- Docker Desktop
- Rancher Desktop
- WSL2

WSL2では、Windows Subsystem for Linux 2 (WSL2) 上で動くLinuxを使ってDockerを動かします。

● その1 : Docker Desktop

Docker Desktopは、Docker社が提供しているソフトウェアです。Windows版のほかにmacOS版やLinux版もあります。Windows環境でコンテナを使用する場合、Docker Desktopが最も一般的です。

ダッシュボード画面や設定画面といったGUIが用意されていて便利です。登場が早かったことや利用者が多いことから情報も多く見つけられます。

2021年にライセンス体系の変更があり、大手企業が無償で使用することは難しくなりましたが、個人では今も無償で使用できます。

<https://docs.docker.com/>

● その2 : Rancher Desktop

どちらかと言えばRancher Desktopは、Kubernetesの実行環境を提供する機能がより充実しているようです。Windows、macOS(インテル/アップル・シリコ

ン)、Linuxと対応範囲が広いことも魅力です。

Docker Desktopとほぼ同様の機能を持っており、Dockerのライセンス変更の影響もあり、利用される機会が増えているようです。

<https://rancherdesktop.io/>

筆者が試用したときは、ネットワークの領域やディレクトリのマウントにおいてDocker Desktopの挙動と違いがありました。ただし、Docker Desktopで動作するコンテナ・イメージであれば、設定を少し手直して動作可能になるものが多いと感じました。

● その3 : WSL2

Windows 10以降では、Linuxの実行環境としてWSL2(Windows Subsystem for Linux 2)を使えます。このLinux上でもDockerを利用可能です。例えば、Microsoft Storeから無償でインストールできるUbuntuを使い、その上にDockerをインストールして使えます。

Docker Desktopを使ってみる

本稿では、Docker Desktopを使って、Windows環境でDockerコンテナを実行する方法を説明します。

● Dockerのインストール

Docker Desktop for Windowsのインストール手順を説明します。Docker Desktopを使用する場合でもWSL2の機能を使用するため、WSL2^{注1}を使える状態にしておいてください。

Docker Desktopのインストーラを次のURLからダウンロードします。

<https://docs.docker.com/desktop/install/windows-install/>

ダウンロードしたDocker Desktop Installer.

注1: WSL2のインストールは次のウェブ・ページを参考にしてください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/wsl/install>